

# 2007年ファイル交換ソフトによる情報漏えいに関する調査 調査結果の概要

2007年12月21日

株式会社日立製作所

## 目 次

I. 結果概要	3
II. 調査方法	4
1. 調査の目的	4
2. 調査の方法	4
3. 回答数	4
4. 回答者特性	4
III. 調査結果	5
1. ファイル交換ソフトの利用状況	5
(1) ファイル交換ソフトの利用率	5
(2) 現在利用者に利用されているファイル交換ソフトの種類	5
2. 現在利用者のファイル交換ソフト利用環境	7
(1) 回線種別	7
(2) ファイル交換を行うパソコン	7
(3) 自宅で利用するパソコンの共有	8
(4) 使用しているパソコンのOS	8
(5) 過去1年間にダウンロードしたファイル数	8
3. 現在利用者のセキュリティに関する状況	9
(1) ファイル交換ソフト利用時のセキュリティ対策	9
(2) ファイル交換ソフトを介してウイルスをダウンロードした経験	10
(3) ファイル交換ソフトによる情報流出に対する意識	11
(4) 自宅パソコンでの勤務先の仕事	12
4. 過去利用者がファイル交換ソフトの利用をやめた理由	13

### 謝辞

本調査は、総務省から委託を受けた「ネットワークを通じた情報流出の検知及び漏出情報の自動流通停止のための技術開発」の成果の一部である。また、本調査は社団法人コンピュータソフトウェア著作権協会の協力により実施した。

## 1. 結果概要

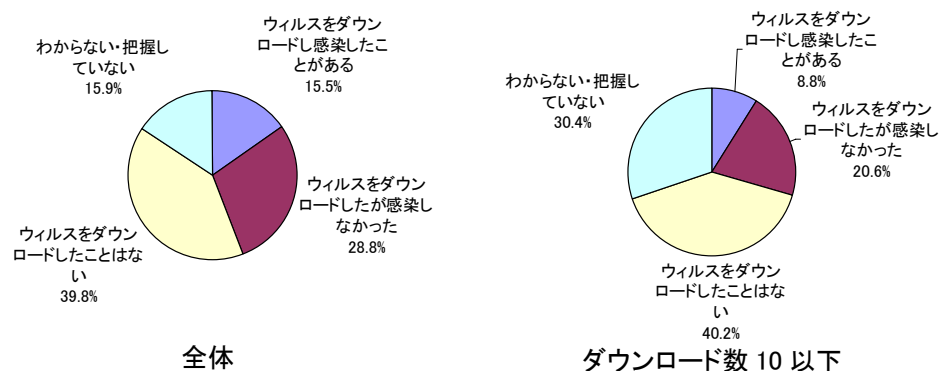
今回の調査では、回答者のうち9.6%が現在ファイル交換ソフトを利用しており、社団法人コンピュータソフトウェア著作権協会が実施している過去のファイル交換ソフトの利用に関する調査と比較して、利用率が急増している。

現在利用者がこれまでに利用したことがあるファイル交換ソフト、現在利用者が現在主に利用しているファイル交換ソフトともに「Winny」が最も多い。また、今回の調査では、社団法人コンピュータソフトウェア著作権協会が実施している過去のファイル交換ソフトの利用に関する調査と比較して、「Limewire」が「WinMX」を逆転して2位となっており、利用されているファイル交換ソフトのシェアに変化が見られる。

ファイル交換ソフトの現在利用者のうち、97.6%がブロードバンドを利用しており、ファイル交換ソフトを利用しやすいインターネット環境が整っている。また、現在利用者の利用 OS は、81.7%が WindowsXP であり、セキュリティ対策ソフト導入やセキュリティアップデート実施などのセキュリティ対策が行いやすい PC 環境は整いつつある。一方で、3.0%の現在利用者が Windows95、Windows98、WindowsMe といったセキュリティアップデートの提供が終了し、セキュリティ対策ソフトの動作サポートからもはずれつつある古い OS を利用し続けており、セキュリティ施策をうちにくい環境が依然として残っている。

ファイル交換ソフトの現在利用者のうち、ファイル交換ソフトを介したウイルスをダウンロード経験は44.3%、実際にウイルスに感染したことがあるとの回答が15.5%にのぼる。ダウンロードファイル数が10ファイル以下でも、ウイルスのダウンロード経験が29.4%、実際にウイルスに感染したことがあるとの回答は8.8%であり、ダウンロード数が少なくてもかなりの割合でウイルスダウンロード・感染の経験をしている。さらに、わからないと回答した現在利用者が全体で15.9%、ダウンロードファイル数が10以下だと30.4%にのぼることを考えると、実際にウイルスのダウンロード経験・感染経験はさらに多いと推測され、ファイル交換ソフトによる情報漏えいのリスクは非常に高いといえる。

### 【ファイル交換ソフトによるウイルスダウンロード・感染経験】



ファイル交換ソフトの利用環境においても、利用時にセキュリティ対策を何もしていない利用者が10.9%、自宅 PC を家族などと共用する利用者が27.3%、自宅での勤務先の情報を扱う利用者が42.3%いることから、各家庭でのファイル交換ソフトの使い方についての啓発も重要であるといえる。

また、ファイル交換ソフトによる情報流出に対しては、65.2%のユーザが不安を持っており、過去の利用者がファイル交換ソフトの利用をやめた理由として情報流出への懸念が32.6%で最も多いなど、ファイル交換ソフトの利用が情報流出につながるものがユーザの間でも広く認識されている。しかし、一方でファイル交換ソフトの利用率は増加している現状がある。

以上の調査結果から、ファイル交換ソフトの利用による情報漏えいの危険性は依然として高く、利用者の不安は大きいことがわかる。一方で、情報漏えいの危険性が利用者に知られているにもかかわらず、ファイル交換ソフトの利用者は増加しており、利用されているファイル交換ソフトの種類にも変化が見られることから、今後も、技術面での対策、運用面での対策、ユーザ啓発など、継続して総合的に対策を推進していく必要がある。

## II. 調査方法

### 1. 調査の目的

本調査では、ファイル交換ソフトを通じた情報漏えいに関する現状を明らかにするために、インターネットユーザのファイル交換ソフト利用状況や意識に関して調査を行った。

### 2. 調査の方法

本調査は、2007年9月14日～9月24日の期間で、インターネットユーザに対するWEBアンケート方式で実施した。

### 3. 回答数

有効回答数 20,301人

### 4. 回答者特性

#### ■ 性別

	全体	男性	女性	無回答
現在利用者	1943 100.0	1311 67.5	632 32.5	0 0.0
過去利用者	2205 100.0	1436 65.1	769 34.9	0 0.0

上段：実数  
下段：構成比 (%)

#### ■ 年代

	全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	無回答
現在利用者	1943 100.0	171 8.8	448 23.1	674 34.7	456 23.5	145 7.5	49 2.5	0 0.0
過去利用者	2205 100.0	98 4.4	504 22.9	838 38.0	509 23.1	200 9.1	56 2.5	0 0.0

#### ■ 職業

	全体	会社役員・団体役員	会社社員・団体職員	公務員	教員	自営業・フリーランス	自営専門的職業	派遣社員・契約社員	パート・バイト
現在利用者	1943 100.0	46 2.4	821 42.3	51 2.6	14 0.7	153 7.9	51 2.6	98 5.0	158 8.1
過去利用者	2205 100.0	65 2.9	1024 46.4	75 3.4	34 1.5	174 7.9	40 1.8	95 4.3	177 8.0

	専業主婦	小学生・中学生	高校生	浪人中予備校生	専門学校・大学生	無職・年金生活	その他	無回答
	183 9.4	15 0.8	83 4.3	6 0.3	146 7.5	111 5.7	7 0.4	0 0.0
	245 11.1	6 0.3	50 2.3	6 0.3	119 5.4	87 3.9	8 0.4	0 0.0

※本報告で掲載している数値は、小数点第二位で四捨五入したものである。

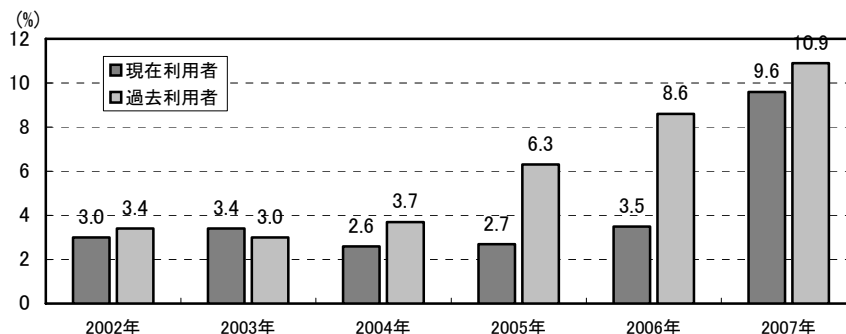
※本報告の「現在利用者」とは、2006年9月～2007年9月にファイル交換ソフトを利用したことがある回答者、「過去利用者」とは、2006年8月以前にファイル交換ソフトを利用していた回答者を指す。

### Ⅲ. 調査結果

#### 1. ファイル交換ソフトの利用状況

##### (1) ファイル交換ソフトの利用率

今回の調査では、回答者のうち 9.6%が現在ファイル交換ソフトを利用しており、社団法人コンピュータソフトウェア著作権協会が実施している過去のファイル交換ソフトの利用に関する調査と比較して、利用率が急増している。



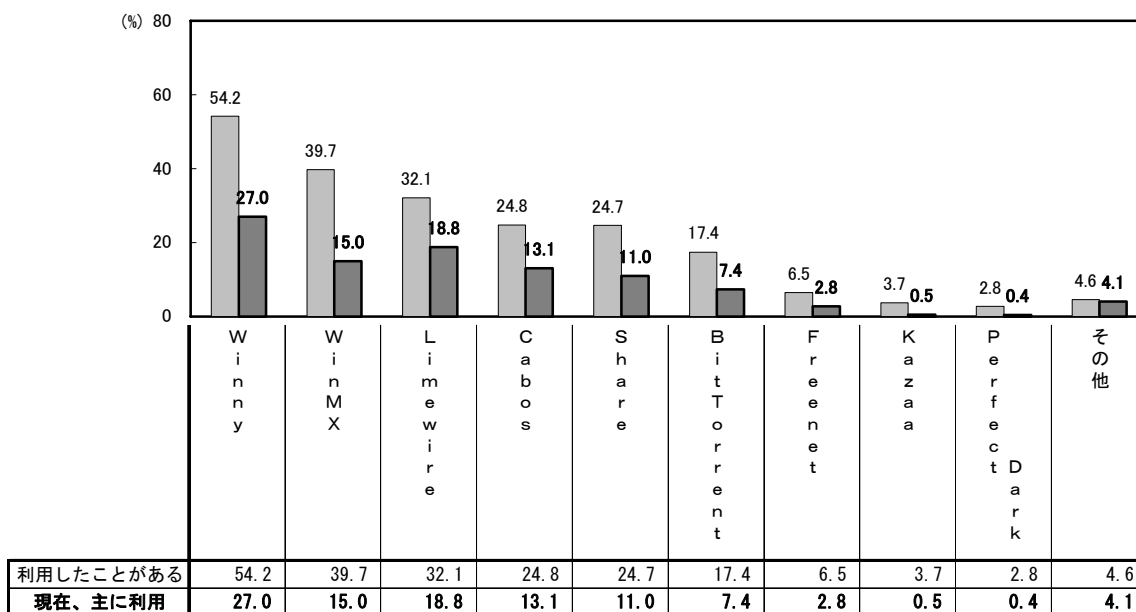
※2002年～2006年の数値は、社団法人コンピュータソフトウェア著作権協会が実施している過去のファイル交換ソフトの利用に関する調査結果による

##### (2) 現在利用者に利用されているファイル交換ソフトの種類

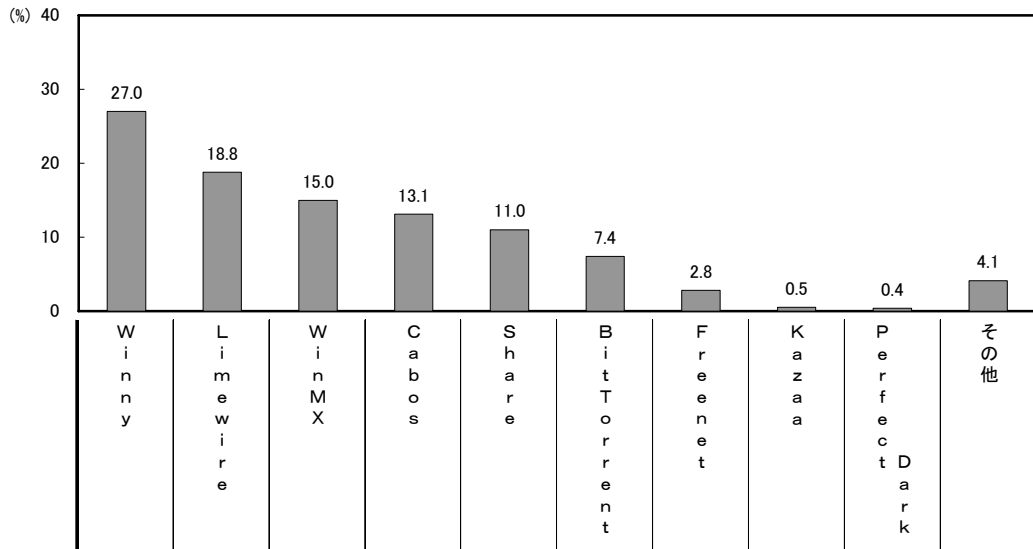
現在利用者がこれまでに利用したことがあるファイル交換ソフトのトップは「Winny」の 54.2%、以下、「WinMX」39.7%、「Limewire」32.1%と続く。

現在利用者が現在主に利用しているファイル交換ソフトも「Winny」が 27.0%で最も多い。今回の調査では、社団法人コンピュータソフトウェア著作権協会が実施している過去のファイル交換ソフトの利用に関する調査と比較して、「Limewire」が「WinMX」を逆転して 2 位となっている。

#### 【現在利用者が利用したことがある、現在主に利用しているファイル交換ソフト】



【現在利用者が現在主に利用しているファイル交換ソフト】

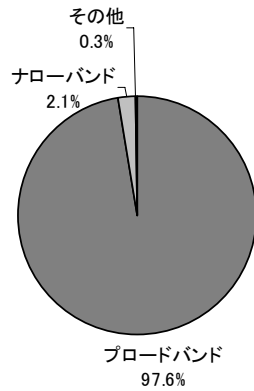


	Winny	LimeWire	WinMX	Cabos	Share	BitTorrent	Freenet	Kazaa	Perfect Dark	その他
全体 (N=1943)	27.0	18.8	15.0	13.1	11.0	7.4	2.8	0.5	0.4	4.1
性別										
男性 (N=1311)	26.2	17.0	14.9	13.7	12.6	9.9	1.8	0.5	0.3	3.2
女性 (N= 632)	28.6	22.5	15.3	11.9	7.6	2.1	4.9	0.6	0.5	6.0
年代別										
19歳以下 (N= 171)	21.1	19.3	11.1	20.5	9.9	7.0	5.3	0.0	1.2	4.7
20～29歳 (N= 448)	29.0	17.4	17.2	14.5	10.5	6.7	0.9	0.9	0.2	2.7
30～39歳 (N= 674)	27.7	18.1	14.7	11.4	12.2	7.7	3.1	0.6	0.3	4.2
40～49歳 (N= 456)	22.8	22.4	16.0	12.9	9.4	8.3	2.9	0.2	0.2	4.8
50歳以上 (N= 194)	34.5	15.5	12.4	9.8	12.4	5.7	3.6	0.5	0.5	5.2
男性										
19歳以下 (N= 98)	22.4	14.3	11.2	22.4	12.2	9.2	1.0	0.0	2.0	5.1
20～29歳 (N= 245)	29.0	12.2	17.6	14.3	11.4	11.8	0.4	1.2	0.4	1.6
30～39歳 (N= 448)	27.9	17.0	14.3	12.9	14.1	9.8	1.6	0.4	0.0	2.0
40～49歳 (N= 360)	20.8	21.7	15.8	13.3	11.1	10.6	2.5	0.0	0.3	3.9
50歳以上 (N= 160)	31.3	15.6	12.5	10.6	13.8	6.3	3.1	0.6	0.0	6.3
女性										
19歳以下 (N= 73)	19.2	26.0	11.0	17.8	6.8	4.1	11.0	0.0	0.0	4.1
20～29歳 (N= 203)	29.1	23.6	16.7	14.8	9.4	0.5	1.5	0.5	0.0	3.9
30～39歳 (N= 226)	27.4	20.4	15.5	8.4	8.4	3.5	6.2	0.9	0.9	8.4
40～49歳 (N= 96)	30.2	25.0	16.7	11.5	3.1	0.0	4.2	1.0	0.0	8.3
50歳以上 (N= 34)	50.0	14.7	11.8	5.9	5.9	2.9	5.9	0.0	2.9	0.0
ダウンロード数										
-10ファイル (N= 480)	39.8	9.2	11.5	5.8	12.3	6.7	6.7	0.6	0.2	7.3
-50ファイル (N= 425)	28.0	21.4	11.5	13.2	11.3	8.0	2.8	0.7	0.0	3.1
-100ファイル (N= 250)	26.4	20.4	12.4	17.6	9.6	6.8	1.6	0.4	0.8	4.0
-500ファイル (N= 517)	19.9	24.2	17.6	16.6	10.4	7.4	0.8	0.4	0.2	2.5
-1000ファイル (N= 106)	15.1	23.6	24.5	14.2	11.3	5.7	0.9	0.9	0.0	3.8
1001ファイル (N= 165)	17.6	17.6	24.2	15.8	9.7	9.7	0.6	0.0	1.8	3.0

## 2. 現在利用者のファイル交換ソフト利用環境

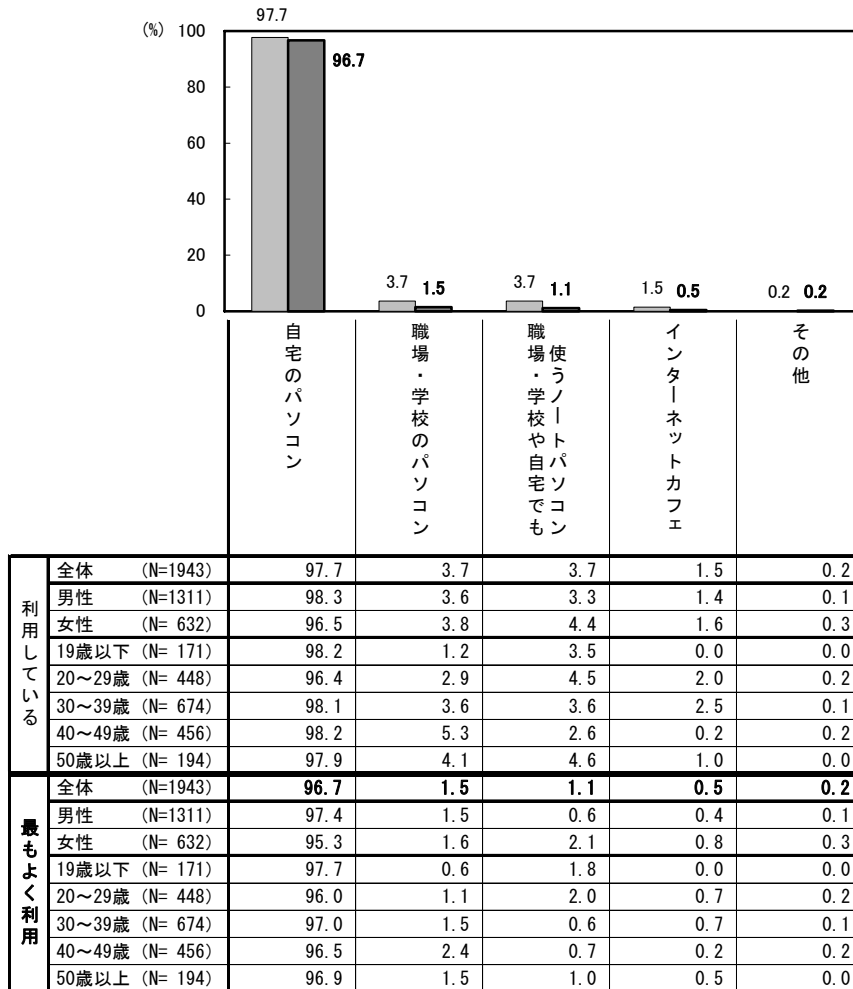
### (1) 回線種別

利用している回線については、ブロードバンドが圧倒的に多く、97.6%となっている。



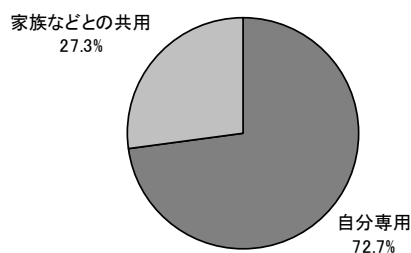
### (2) ファイル交換を行うパソコン

ファイル交換を行うのは「自宅のパソコン」が圧倒的に多く、自宅以外でのファイル交換は極めて限定的である。



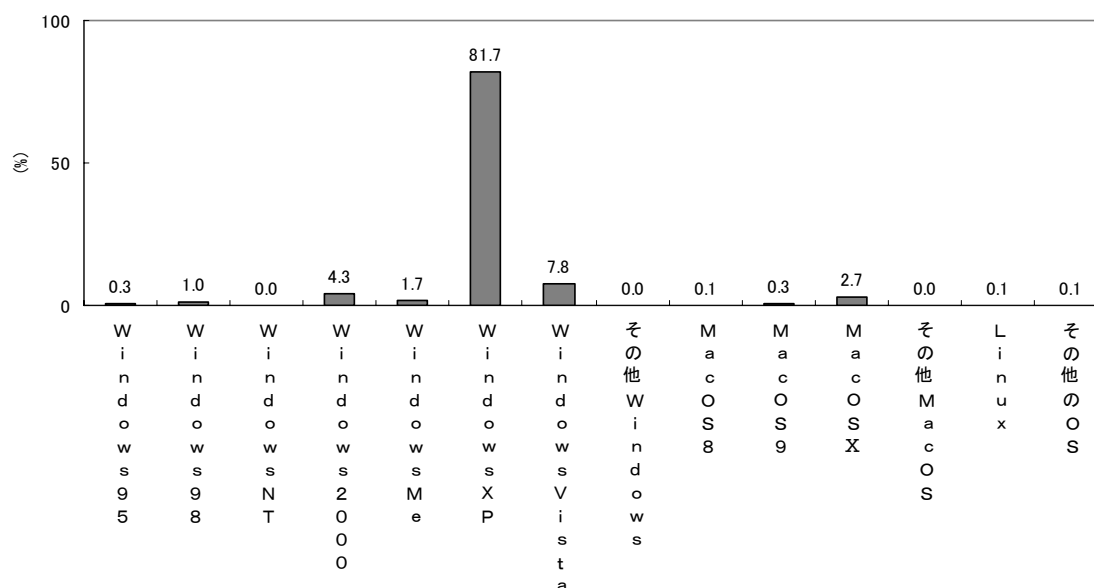
### (3) 自宅で利用するパソコンの共有

ファイル交換ソフトを現在利用しているユーザが自宅で最もよく利用する PC は、自分専用と答えたユーザが72.7%、家族などと共用すると答えたユーザが27.3%となっている。



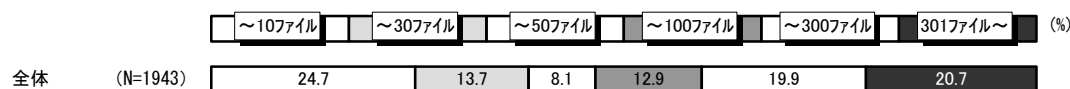
### (4) 使用しているパソコンの OS

使用しているパソコンの OS としては WindowsXP が81.7%と最も多い。一方で Windows95が0.3%、Windows98が1.0%、WindowsMe が1.7%と、古いバージョンの OS も依然として利用されている。



### (5) 過去1年間にダウンロードしたファイル数

過去1年間にダウンロードしたファイル数は、50~100ファイルが中間層であり、300ファイル以下が約8割を占める。



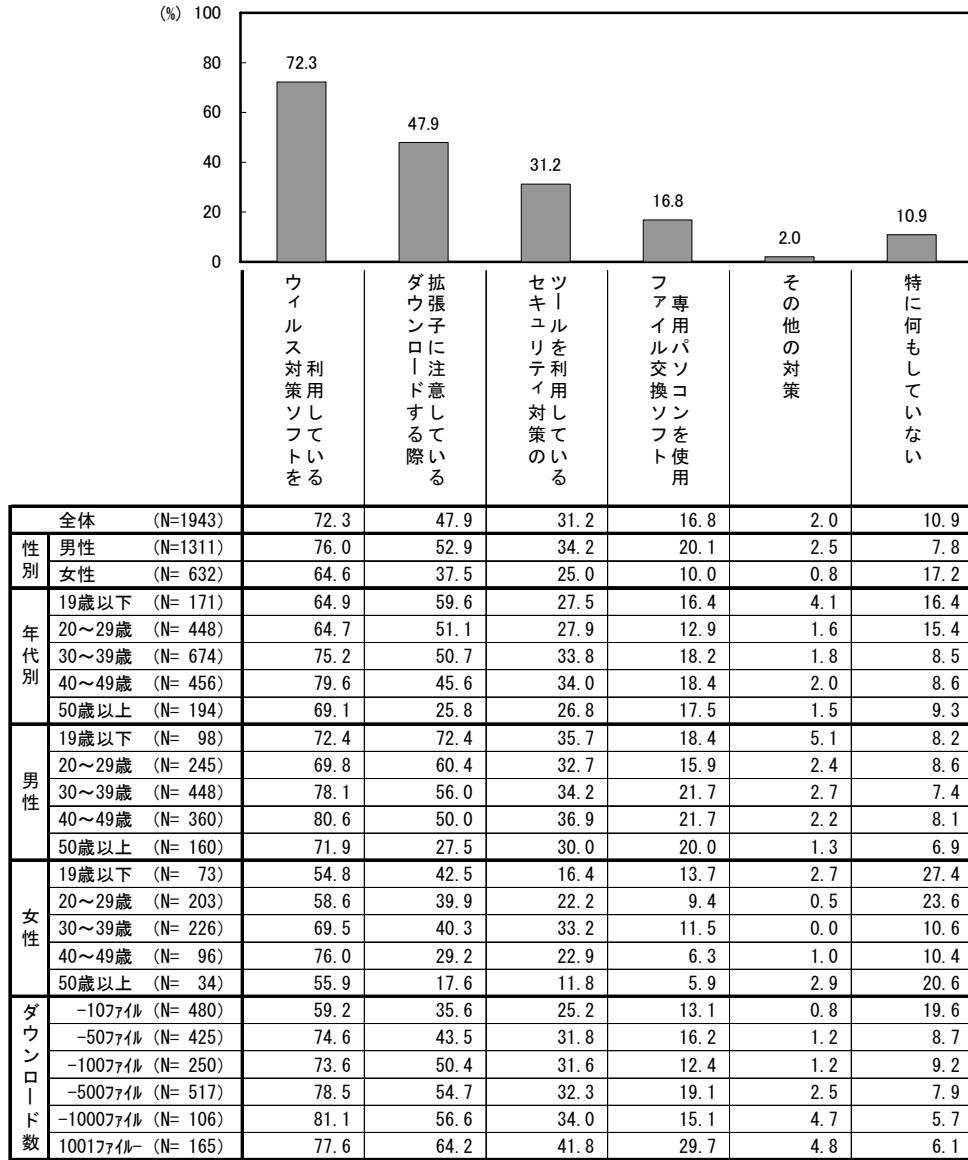


### 3. 現在利用者のセキュリティに関する状況

#### (1) ファイル交換ソフト利用時のセキュリティ対策

ファイル交換ソフトの利用の際にセキュリティ対策を「特に何もしていない」人は10.9%で、約9割は何らかの対策をしており、そのうち、「ウイルス対策ソフトを利用」が72.3%で最も多く、「ダウンロードの際に拡張子に注意」もほぼ半数を占めている。

「特に何もしていない」が目立つのは男性よりも女性(特に20代以下と50代以上)やダウンロード数が10ファイル以下の層など。

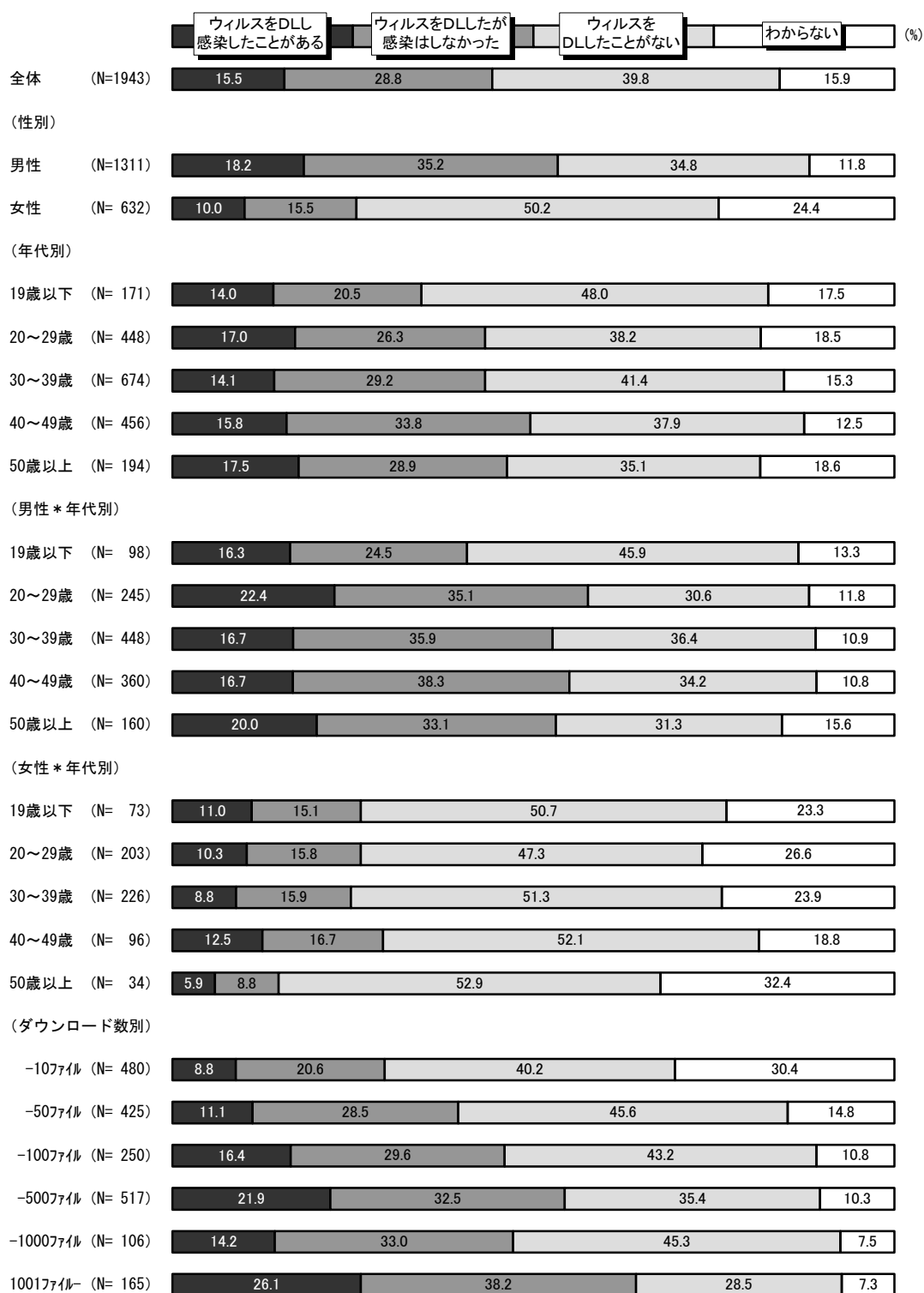


## (2) ファイル交換ソフトを介してウイルスをダウンロードした経験

現在利用者のうち、ファイル交換ソフトを介して「ウイルスをダウンロードしたことがある」人は44.3%、そのうち「ウイルスに感染した」のは15.5%。一方、「わからない」と回答した人も15.9%に上っている。

性別では、男性は「ダウンロードした」が過半数を占めるが、女性は4人に1人程度にとどまっている。ただし、「わからない」は女性の方に多くなっている。

ダウンロード数別では、ダウンロード数が多い層ほどダウンロード経験率も高く、1001ファイル以上は64.3%に達し、実際に「感染したことがある」比率も26.1%と高い。しかし、ダウンロード数が10以下でも、29.4%がウイルスのダウンロード経験があり、8.8%が実際に「感染したことがある」と答えている。また、ダウンロード数が10以下では、「わからない」が30.4%に達している。

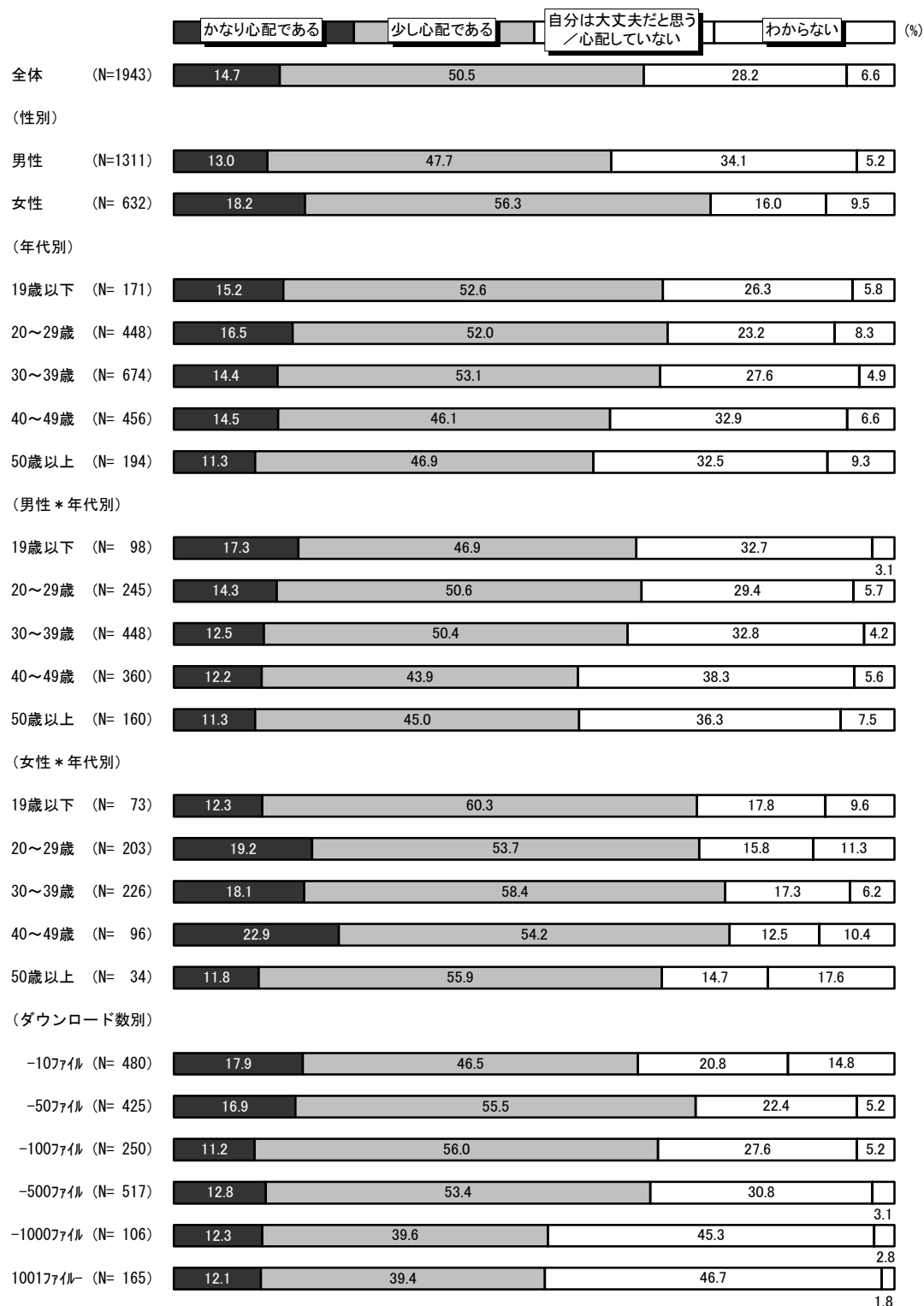


### (3) ファイル交換ソフトによる情報流出に対する意識

ファイル交換ソフトによる情報流出が、「かなり心配である」14.7%、「少し心配である」50.5%を合わせると、ほぼ3人に2人が「心配である」と回答している。

性別では、男性よりも女性の方が「心配」を感じている人の比率が高い。

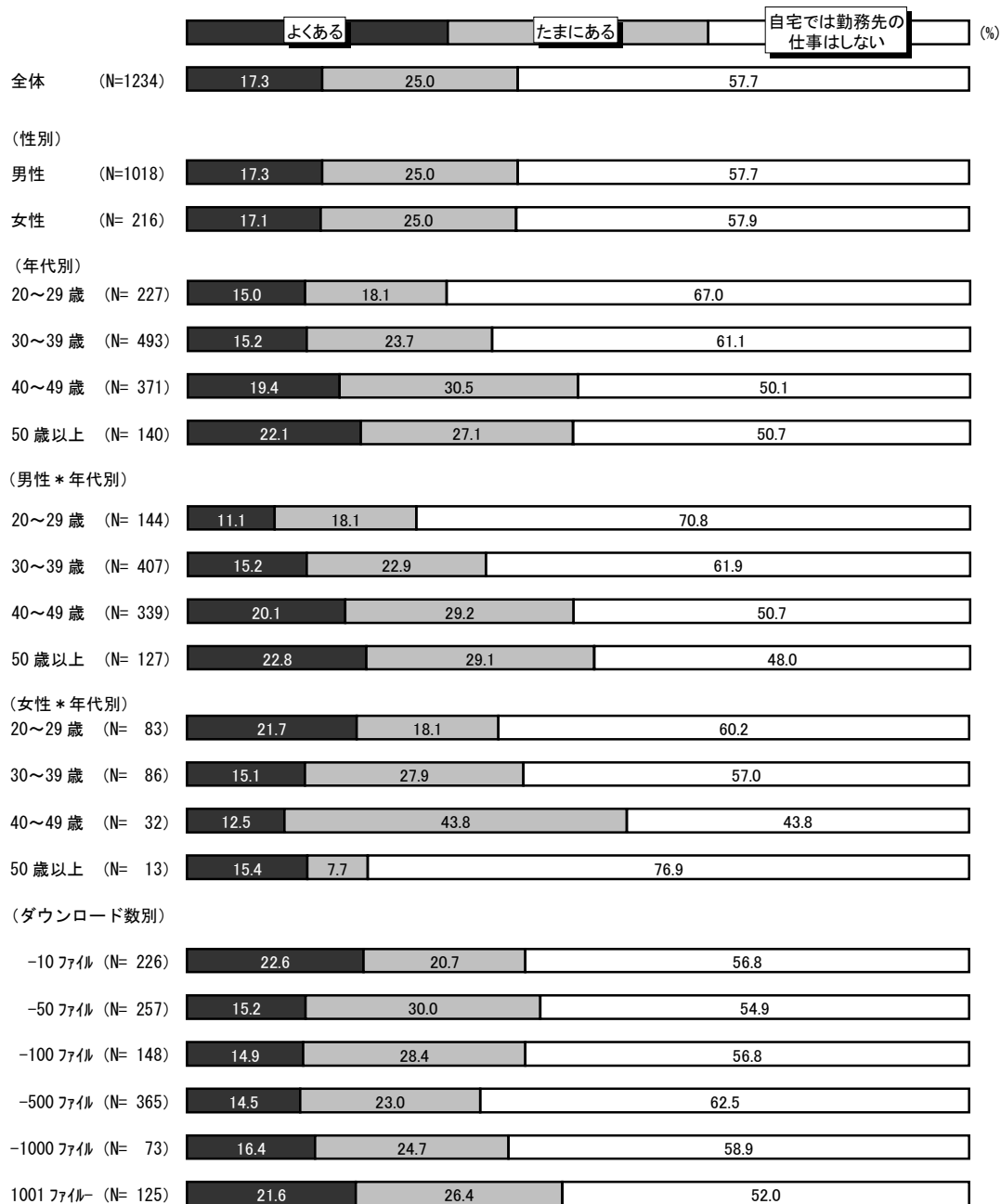
ダウンロード数別でみると、501ファイル以上になると「自分は大丈夫／心配していない」とする人の割合が一気に上昇している。



#### (4) 自宅パソコンでの勤務先の仕事

「自宅のパソコンでは勤務先の仕事をしない」人は57.7%で半数以上を占め、「よくある」「たまにある」人を合わせた約4割が自宅のパソコンで勤務先の仕事を行っている。

性別での差はほとんどみられないが、男女とも年代が上がるにつれ、自宅でのパソコン作業が目立っている。



#### 4. 過去利用者がファイル交換ソフトの利用をやめた理由

過去利用者がファイル交換ソフトの利用をやめた理由は、「ウイルスや自分のパソコンの情報が流出するのが心配になった」がもっとも多い理由となっている。

